

綾栄会 16 ニュース

平成30年12月1日発行 第52号

学校法人 香川栄養学園 募金担当
〒170-8481 東京都豊島区駒込3-24-3
tel.03-3918-3701

- 坂戸キャンパス
女子栄養大学大学院
女子栄養大学（栄養学部）
- 駒込キャンパス
女子栄養大学（栄養学部二部）
女子栄養大学短期大学部
香川調理製菓専門学校

感謝

学校法人 香川栄養学園
女子栄養大学・女子栄養大学短期大学部
理事長・学長・綾栄会会長

香川 明夫



この度、卒業生であり本学の教壇にもお立ちくださった荒井慶子先生から平成30年7月にご寄付を賜りました。その後9月にお礼とご報告をさせていただくため、伺いました。その際、大変お元気に私たちをお迎えいた

いただきました。ご寄付いただいたことと厚く御礼申し上げます。にご意向であった「学生・生徒の教育のため」ということについて「国際的感覚をもつ学生・生徒の育成」に役立てたいとお伝えしました。

私学を巡る状況について本学はもとより、私学全体を通して大変厳しい状況が続いています。本学は食に特化した学園として大学院、大学、短期大学部、専門学校を有して日々教育と研究に取り組んでいます。中でも「不易と流行」を検討し、常に求められることは何か、今取り組むべきことは何かを明らかにしながら実践しています。

荒井先生が本学で学ばれていた昭和18年から20年の3年間は日本の歴史上、平和と食が危機に直面していた時期でした。その苦しい環境での学びについて先生は「(前略)調理実習の示範で綾生が烏賊の皮を布巾を使ってきれいにむかれたお姿が目についた。材料は愛情を込めて大切に扱われ無駄のない見事なお手際であった。(中略)2年

す。これは本学の「不易」であり、成すべき教育と研究の姿です。

今回のご厚志は先に述べたようにこれから求められる国際的感覚をもつ人材育成に使わせていただくこうと考えています。こちらは今日の課題でありいわば「流行」にあたります。私たち日本人は「和食」という文化、食事形態を昔から大切にしてきました。

また学園は四群点数法を通して健康的な食生活習慣が今日の日本を創り出したと言っても過言ではありません。この健康的で文化的な「食」を世界に広めることにより世界の人々に健康で豊かな生き方をさせていただくための土台をつくる人材育成をすることができればと夢は大きく膨らみます。これからの教育と研究にまい進する学園であることが、ご寄付を賜ったことにお応えすることになると思います。皆様にご報告するとともに、荒井慶子先生に改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

荒井慶子先生の

ご寄付に感謝して



女子栄養大学・女子栄養大学短期大学部
副学長

五明 紀春

荒井慶子先生は、昭和十九年に女子栄養学園本科、昭和二十一年同高等科と、学園草創期の卒業生でいらつしゃいます。

学園創設者の香川昇三、綾両先生からは、栄養学、調理学の基本について親しく薫陶を受けられ、また、中国料理を王馬熙純先生に、西洋料理を深澤二郎（侑史）先生にと、当時大家と言われた先生方からは本格的な料

理を学ばれました。さらに、学園の調理教育の礎を築かれた上田フサ先生の下で、研鑽を積み、調理教育・料理研究の道で一家を成すに至りました。

女子栄養短期大学、女子栄養大学を通じて調理実習（西洋料理）を担当され、先生のご指導を受けた卒業生は多数に上り、今日の学園の隆盛の原動力となりました。

「常に喫食者の正しい味方であるようにね」の香川綾先生の言葉を、「私のお守り」として、変わらず若い人たちに語り継がれてこられました。教育者として、学生たちには、食を扱う者としての「高いモラル」を求められました。荒井慶子先生は、学園創立者の理想の火を受け継がれ、誠心誠意次世代に伝えられた功労者でいらつしゃいます。

一方、給食施設（鹿島建設嘱託）の指導を通じて、新しい時代の社員食堂のあり方に、長年にわたり栄養士として尽力され、さらに集団給食研究会理事を務められ、栄養士業務のあり方についても大きく貢献されました。

他方、杉野女子大、川村学園等においても、調理学、給食管理の実習教育に当たられました。雑誌『栄養と料理』では、戦後間もない昭和二十三年から四十年にわたり、荒井慶子先生による食事・料理記事はおびただしい数に上ります。執筆者として、

文字通り同誌の発展を支え続けてこられました。

昭和五十六年からは、上田フサ先生呼びかけの「美味しい野菜の勉強会（識菜会）」の中心メンバーとして加わられ、全国各産地の野菜について、調理法等の研究に努められ、さらに昭和六十三年には「野菜と文化のフォーラム」を設立、啓蒙・普及活動に献身的に取り組まれました。

本学園に対して、多年にわたり多大のご貢献をいただいて参りました荒井慶子先生から、この度は、さらに母校に、多額のご芳志を賜りました。

学園として、先生の志を継ぎ、また先生の熱いご期待に添うべく学生たちの学業支援のため、謹んでお預かりさせていただき、ことと致しました。

ここに、荒井慶子先生に対しまして、あらためて深甚の感謝を申し上げる次第です。

荒井慶子様からの

「ご寄付について」

この度、女子栄養学園高等科の卒業生（昭和20年卒）であり、大学と短期大学（当時）で講師を務められた荒井慶子様から多額のご寄付を賜りました。

今後、このご寄付を原資とした「荒井慶子奨学金」の創設に向けて運営委員会を設置し、対象・金額・人数等詳細を確定していきます。

本奨学金基金は給付の奨学金として、学園の国際化への推進に向け、学生、生徒の海外留学・海外研修・語学研修・語学資格取得等を支援するための奨学金制度とする予定です。

9月20日（木）に香川理事長と染谷常務理事が荒井様のご自宅にお伺いし、感謝状楯をお渡しして深甚なる謝意を申し上げます。



綾栄会事務局よりの「ご報告」

「平成30年度 DNP奨学金」授与式を開催

6月30日（土）に「平成30年度 DNP奨学金」授与式が奨学生9名参加（1名欠席）のもと、坂戸キャンパスにて開催されました（奨学生：大学8名、短期大学部2名）。

この奨学金制度は、株式会社DNPフアシリテイサービスとの連携協力に基づき設立されたもので、栄養学部・短期大学の最終学年に在籍する成績優秀者10名に奨学金（10万円）として給付されるものです。

今年で6回目の開催となる授与式には、同社の柳代表取締役社長にご列席いただき、奨学生二人ひとりに対して、柳代表取締役社長と香川学長よりそれぞれ奨学金と奨学証書が授与されました。授与式後の会食・歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



「平成30年度 野口医学研究所奨学金」授与式を開催

10月16日（火）に「平成30年度 野口医学研究所奨学金」授与式が奨学生16名参加のもと、駒込校舎松栢軒にて開催されました（奨学生：大学11名、短期大学部3名、専門学校2名）。

本奨学金は、修学意欲がありながら経済的な支援を必要とする、栄養学部・栄養学部二部・短期大学部・専門学校・短期大学の最終学年に在籍する学生及び生徒に、一年間にわたり奨学生一人当たり月額2万円、計24万円が給付され、学納金として充当されるものです。

今年で6回目の開催となる授与式には野口医学研究所より創設者の浅野嘉久名誉理事をはじめ4名にご列席いただき、奨学生一人ひとりに対して浅野嘉久名誉理事より奨学証書が授与されました。授与式後の会食・歓談では、奨学生より感謝の意が述べられました。



香友会（同窓会）からの「ご寄付」

6月24日（日）坂戸キャンパスにて開催された平成30年度香友会ホームカミングデーのランチパーティーにおいて、女子栄養大学香友会山下静江会長より香川明夫理事長に綾栄会募金へのご寄付として100万円の目録贈呈が行われました。香友会の皆様からのご支援に篤く御礼申し上げます。



香川栄養学園 古本募金を開始いたしました。

皆様の読み終わった本が学生・生徒の生活充実支援のために教育・研究環境の整備などに役立てられます。

ご不要になった本やCD・DVDをご提供ください。その買取価格が全額、香川栄養学園への寄付となり、学生・生徒の生活充実支援に役立てられる取組です。

香川栄養学園 古本募金

検索

(提携会社) (株)パリュブックス
フリーダイヤル 0120-826-292

古本募金の2018年4月～9月までの受付分は、138件(11,808冊)で寄付金額は289,482円となりました。お申込みを頂きました皆様に御礼申し上げます。

ご寄付者一覧

第52回報告

平成30年4月～30年9月末日お申し込み分

ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲載しております
(五十音順、敬称は省略させていただきました)。
ご支援を賜りありがとうございます。御礼申し上げます。

- 2回以上ご寄付をいただいた個人・法人のご芳名も1回の掲載とさせていただきます。
- 住所・氏名など変更がありましたら、お手数ですが綾栄会事務局 (TEL03-3918-3701 E-mail:bokin@eiyo.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。
また、綾栄会に関するご希望、ご意見も遠慮なくお寄せください。

個人

卒業生 篤志家 学園教職員

相原 晶子	長田 齋	菅原 久美子	藤沼 彩	勝野 千恵子
青木 章子	小野 仁子	杉浦 弘子	藤原 勝子	鎌田 克信
秋山 嶺代	小野 美智子	杉本 勝行	古川 知子	川島 一利
安達 律子	小原 匡子	杉山 成二	古川 瑞雄	児島 雅
足立 望	皆田 健太郎	鈴木 直人	古海 大輔	古藤 浩
荒井 慶子	香川 明夫	鈴木 英子	細野 幹人	古藤 理恵
荒木 真里奈	香川 靖雄	鈴木 益江	穂積 法枝	小林 直子
石田 憲治	金澤 久美子	関 純子	堀 純子	斉藤 有沙
石田 敏子	金谷 滋子	染谷 忠彦	堀江 修一	佐々木 克弘
石原 雅義	金田 雅代	武尾 亮	堀尾 節子	佐野 公則
石山 三貴男	亀田 紘子	田島 宣子	松尾 鉄城	佐野 奈奈
一松 倫子	川内 唯之	立野 恵美子	松岡 章子	塩入 秀知
稲葉 三起夫	河上 恭雄	田中 久子	眞山 静子	柴野 直樹
井元 りえ	川端 輝江	田村 隼人	三好 恵子	島田 由美子
岩間 範子	神田 妙子	田村 久子	村上 陽子	仁義 和彦
上原 美智子	菊地 千枝子	土屋 純一	森尾 紀子	鈴木 あつみ
植村 百合枝	木下 峻介	出羽 式子	森 さやか	高橋 純子
内野 美保	清宮 初枝	東畑 朝子	森田 なぎさ	高見 俊也
江波戸 洋子	久保田 徳子	富永 暁子	森田 冨紗子	垂石 英克
遠藤 伸子	久保田 孝仁	富野 博樹	森戸 さゆり	塚本 洋一
遠藤 徳夫	熊沢 孝仁	中里 富美子	矢口 香織	中 久美子
及川 由紀子	慶田 美佐子	中津井 祐一	安嶋 則子	新田 和枝
大木 充	小久保 和代	中屋 祐子	矢野 大介	藤田 幸彦
大河内 教好	小島 さくら	生天目 房子	山口 順子	保阪 大也
大崎 繁一	小島 紀子	西浦 歩	横見 洋子	星山 良一
大谷 文子	小松 孝正	仁田 玲子	横山 紗桜理	三島木 ルミ子
大沼 久美子	五明 紀春	根岸 由紀子	吉岡 久	宮田 保彦
大沼 由美子	小森 明	箱山 良治	吉川 僚一	村田 栄一
大脇 珠美	佐々木 浩二	橋本 幸治	吉田 美智子	村山 泰治
小川 孝	佐々木 嘉恵	橋本 英明	渡部 修司	柳沼 正典
小川 三保子	定方 正美	長谷川 満		安田 和人
荻原 英子	佐藤 慎悟	羽鳥 洋子		山本 英子
奥嶋 研司	佐藤 智英	林 修		油原 剛
奥嶋 佐知子	重松 淳一	原口 英男	保護者 在校生	吉田 洋
奥堂 雅之	島崎 聡子	平田 隆子	浅見 悦弘	渡邊 愛
尾崎 千志	清水 豊	広嶋 栄美子	阿部 博美	
	女子栄養大学・女子栄養大学	廣末 トシ子	荒牧 長門	
	短期大学部保護者会	深堀 聖子	飯沼 久裕	
	女子栄養大学校友会	吹春 秀典	井汲 達也	
	菅井 百合子	福田 加代子	石川 雅博	
			落合 雅義	

匿名 127名

法人

有限会社 RMステーション	株式会社 進路情報ネットワーク	第一生命保険株式会社	武州瓦斯 株式会社
株式会社 アイト	株式会社 鋤谷書店	株式会社 田村屋	米国財団法人 野口医学研究所
あみ印食品工業株式会社	埼玉環境衛生株式会社	株式会社 ダンアート	株式会社 ベルク
公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団	株式会社 埼玉種畜牧場	株式会社 東北食糧	瑞穂印刷株式会社
株式会社 栄美通信	株式会社 三和豆水庵	中沢乳業株式会社	株式会社 みづほ
株式会社 大石商店	清水建設株式会社	新津印刷株式会社	株式会社 ユース
有限会社 大場電気管理事務所	株式会社 上州屋	ハウスウェルネスフー	株式会社 ライセンスアカデミー
香川県農業協同組合	杉本刃物株式会社	ズ株式会社	
株式会社 銀しゃり	全国きな粉工業会	榛名商事	

香川栄養学園 教育・研究促進事業

《募金報告》	個人		法人		合計	
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
今回52号報告分 平成30年4月～9月	107,350,276円	340件	6,575,274円	36件	113,925,550円	376件
古本募金 平成30年4月～9月受付分	289,482円	138件 (11,808冊)				